

活用事例

- 橋長 : 2.9m 幅員 : 11.8m
 - 橋梁形式 : 単純RC中実床版橋
 - 対象部位・部材 : 主桁・橋台(2基)
 - 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR010032-V0324
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

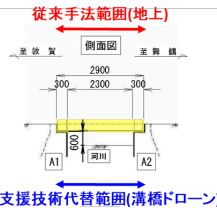
橋梁・支援技術



位置図及び断面図



平面図



○点検支援技術の効果

- ・ 溝橋において点検員が調査し難い空間から高さ20cmの空間まで進入が可能である。
- ・ 360° 動画撮影により、撮影後に任意の方向の確認が可能。
- ・ 点検員は地上から操作するため、安全面に優れる。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・ 狭小空間を滑走又は飛行し、近接での動画撮影が可能である。
- ・ 第三者被害予防措置対象外であり、打音検査の必要がない。
- ・ ひびわれ幅0.2mmを検出可能である。

○使用時の留意事項

- ・ 日中に撮影する必要がある。
- ・ 打診及び触診ができない。
- ・ 溝橋内にある流木流石等の障害物は撤去できない。

水面フローターと360° カメラを搭載したドローンによる 近畿地方整備局 溝橋の点検(2/3)



写真-1 点検状況



写真-2 主桁(鉄筋露出:e)



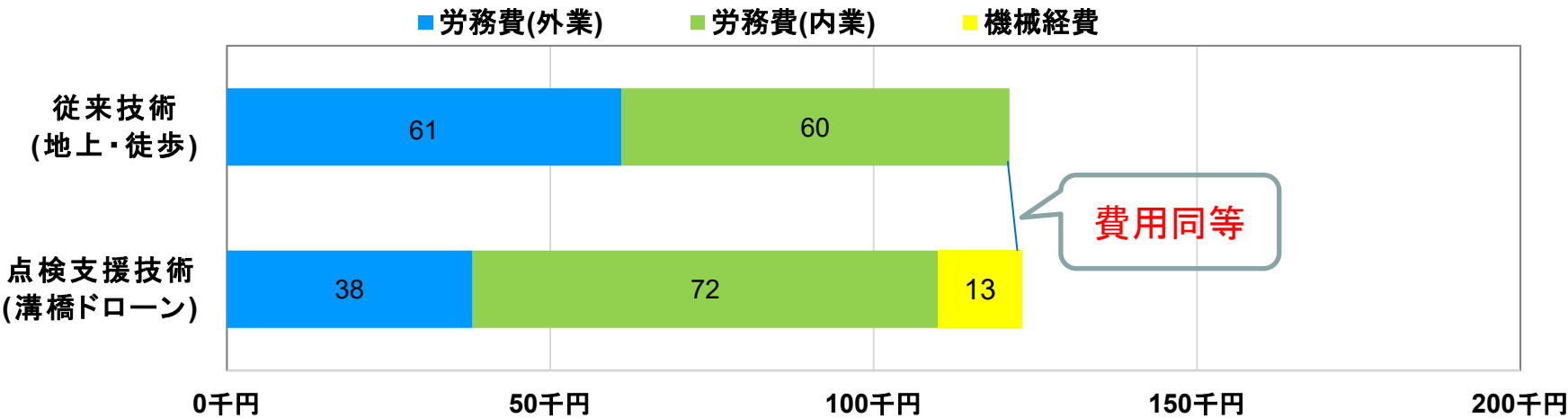
写真-3 縦壁(ひびわれ:d)



写真-4 縦壁(写真-3の接写)

コスト比較

比較条件：溝橋を点検した場合のコスト比較。
評価：従来技術(地上・徒歩)と比べ、同等の費用となる。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	近接目視	溝橋ドローンによる画像撮影
内業	点検調書作成	点検調書作成
(その他比較)	地上・徒歩	溝橋ドローン
合計金額	121千円	123千円
工程	1.5日	1日

○諸条件
点検面積: 34m²
橋脚高: 0.6m(河床～桁下)
天 候: 曇り
対象部位・部材 : 主桁・橋台(2基)
進入路: 有り
点検時間: 9:00～17:00
たたき落とし作業: 無し
積 算: 業者見積もり
前回の健全度: I 判定